

備前市事務事業評価表

事務事業名	個別排水処理施設管理運営事業		コード	担当課係	下水道課施設管理係
事業実施期間	平成12年3月～		01-01-10-08	担当者	奥原通夫
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	電話	0869-63-2330	
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	下水道			
	施策	適正な維持管理			

事業について	
目的 (何のために)	個別設置型浄化槽施設の機能を維持することにより、周辺の生活環境の改善をはかり、併せて公共用水域の水質保全に資すること。
対象 (誰・何を対象に)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域以外で生活する市民。 (平成18年度末累計 人 世帯)
内容	各家庭に設置した浄化槽へ流入した汚水及び生活雑排水を浄化させ、塩素により滅菌した後放流する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果						
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)			
設置人口	250 人	245 人				
接続人口	227 人	229 人				
設置戸数	166 戸	166 戸				
接続戸数	133 戸	139 戸				
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 16,333	国庫補助金等	直接事業費 17,393	国庫補助金等 0	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 1,275	受益者負担 3,836	人件費 830	受益者負担 3,887	人件費	受益者負担
	合計 17,608	市債 0	合計 18,223	市債 0	合計 0	市債 0

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

結果指標	結果指標名	接続人口	接続人口	
	結果指標量	227	229	
	単位	円	円	
	対前年比		100.88%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	17,608,000 円	18,223,065 円	
	単位当たりコスト	77,568 円	79,577 円	
	結果指標名	接続戸数	接続戸数	
	結果指標量	133	139	
結果指標	単位	戸	戸	
	対前年比		104.51%	0.00%
	活動にかかるコスト	17,608,000 円	17,393,065 円	
	単位当たりコスト	132,391 円	125,130 円	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	文化的で健康的な生活の保持と水質の保全による水資源の確保。		
成果指標名	水洗化率 (%)	式又は説明	浄化槽接続人口 / 浄化槽設置人口
	17年度	18年度	
成果指標量	91	93	
対前年比	-	102.20%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成27年度

(平成18年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	B
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等)	生活環境保全及び水質保全の重要性から当該事業の目的、対象並びに内容は妥当である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	今後浄化槽の老朽化が進行することにより、修繕費等の管理コストの増加が予想されるが、計画的に将来に向け効率化を図っていく。設置地区の接続の啓発を行い使用料の増収に勤める。また、地区人口は現在減少傾向にあり、市全体として過疎化の抑止に努める必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明	接続人口及び戸数の若干の増加が見込まれるが、地域の高齢化や過疎化の進行による利用者等の減少の恐れがある。また、浄化槽施設の老朽等による修繕費の発生が見込まれる。
目標値	結果指標量 235人	結果指標量	145戸
	成果指標量		95%

総合評価	浄化槽は性能を満たしている。	評価区分 <A~E> C
------	----------------	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	老朽化する施設の効率的な改修を行う。	H20～	効率性を高めることにより、結果単位当たりのコストを下げることができる。
有効性	使用料をあげるにより、収入増加を見込む。	H19～H20	収入の増収が見込めることにより、単位当たりのコストを下げることができる。